

2026 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 フィットイージー株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 國江 仙 嗣
(コード番号: 212A 東証プライム・名証プレミア)
問 合 せ 先 常務取締役経営管理本部長 藤 原 祐 次
TEL.058-215-8744

健康診断結果の記録・可視化機能の提供開始によるアプリでのヘルスデータ管理機能 アップデートのお知らせ

当社は、AI を活用したヘルスケア領域における健康管理システム「AI ヘルスケアオートメーション」の仕組みにより「健康の自動化」を提供するウェルネスアプリ「F.E アプリ」において、ヘルスデータ管理機能をアップデートし、従来の体組成計データの管理に加え、新たに「健康診断結果」の記録機能を追加いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



◆ F.Eアプリアップデートのお知らせ

**昨年の健診結果
覚えていますか？**

AI文字認識で
自動でデータ化

数値の推移も
グラフで可視化！

健康診断書

体組成計データ

健康診断データ

受診日

基本情報

性別 年齢

男性 33歳

総合判定

② 経過観察

所見はありますが、心配いりません。今後も定期的に検査を続けてください。

血液検査

白血球数 69.1 /μℓ -2.2 >

低 やや低 標準 やや高 高

赤血球数 22.1 /μℓ -2.2 >

低 やや低 標準 やや高 高

今すぐ体験！

App Store からダウンロード

GET IT ON Google Play

1. 本件の概要

当社はこれまで、更なるウェルネスアプリとしての機能拡充及びアプリ利用者の皆様のご要望にお答えし、アプリのアップデートを行ってまいりました。

当社が推進する「AI ヘルスケアオートメーション」は、誰もが「考えなくても健康になれる世界」、すなわち「健康の自動化」を目指す取り組みです。

健康診断は毎年実施されるものであるにもかかわらず、その結果が十分に活用されないまま放置されるケースが少なくないという課題認識のもと、この度、その取り組みの一環として、F.E アプリのヘルスデータ管理機能をアップデートし、新たに健康診断結果の記録機能を追加いたしました。

2. 新機能の特徴と期待される効果

■新機能の特徴

(1) 写真アップロードによる簡単登録
健康診断書の写真をアプリにアップロードするだけで、登録が完了します。
(2) AI OCR 機能による自動読み取り・記録
当社独自の AI OCR 機能が書面データを正確に読み取り、面倒な手入力をすることなく自動でデータを記録します。
(3) 過去データのグラフ化・推移管理
蓄積された過去のデータをグラフで可視化し、自身の数値の変化を一目で把握することができます。
(4) カスタマイズ項目の連携
人間ドックのデータなど、会員様ご自身が特に気になる項目を自由にカスタマイズして記録・連携することが可能です。

■期待される効果

これらの機能により、自身の数値をグラフで可視化し、F.E アプリでいつでも確認できるようにすることで、中長期的な視点での健康管理をサポートいたします。健康診断を単なる年に一度の行事ではなく「毎日の意識」へと変えることで、日々のトレーニングのモチベーション向上や生活習慣の改善に役立てていただき、会員様一人ひとりのウェルネス実現をサポートしてまいります。

3. AI ヘルスケアオートメーションにおける位置づけ



当社が提供する「AI ヘルスケアオートメーション」は、施設内カメラ等から取得した映像・運動データや、体組成計データ等をもとに、AI が会員様一人ひとりに最適なアドバイスを生成・提供する健康管理システムです。

この仕組みによる「健康の自動化」と「なりたい自分」を叶えるためのウェルネスアプリ「F.E アプリ」を提供しており、同アプリは「知（自分を知る）→導（AI によるトレーニングメニュー生成）→整（準備を整える）→活（生活に活かす）→評（ふりかえりで、成果を確かめる）」のサイクルにより、会員様の運動・食事・睡眠を一体的にサポートしております。

今回追加した AI OCR 機能による健康診断結果の自動記録は、「知」のステップにおける健康状態の把握範囲を、AI 顔認証体組成計によるデータに加え健康診断データにまで拡張するとともに、蓄積データの推移グラフ化は、「評」のステップにおいて、より中長期的な視点での健康状態の変化確認を可能にするものです。

4. 今後の展開

今後、本機能により蓄積される健康診断データを活用し、生活習慣病の予防等を踏まえたアプリによる運動・食事・睡眠に関する最適な提案を行ってまいります。

また、当社は、AI ヘルスケアオートメーションによる分析・提案と、店舗における運動環境およびスタッフによるサポートを組み合わせることで、デジタルとリアルの双方の特長を生かしたトータルウェルネスサービスの提供を目指してまいります。今回のアップデートはその一環であり、あわせてアプリの持続的な利便性向上と利用シーンの拡大にも努めてまいります。

以 上